

2013年度第3四半期連結累計期間 連結決算及び業績予想(国際会計基準)

(単位:億円)

損益の状況	2013年度			2012年度	前年同期比	増減率 (%)	2013年度業績予想		
	第2四半期	第3四半期	第3四半期				修正予想	進捗率 (%)	11月8日
	累計期間	累計期間	累計期間	累計期間				公表予想	
売上高 (*1)	63,810	34,023	97,833	77,605	20,228	26%	135,000	72%	137,000
売上総利益	3,124	1,774	4,897	4,071	826	20%	6,500	75%	6,600
販売費及び一般管理費	▲2,313	▲1,320	▲3,633	▲3,022	▲611	-	▲4,900	-	▲4,850
貸倒引当金繰入額	▲14	▲1	▲15	▲6	▲9	-	▲50	-	▲50
営業利益 (*1)	797	453	1,250	1,044	206	20%	1,550	81%	1,700
支払利息(受取利息控除後)	▲101	▲55	▲156	▲135	▲22	-	▲200	-	▲250
受取配当金	129	66	194	178	16	-	300	-	300
有価証券損益	15	0	16	40	▲24	-			
固定資産損益	▲36	▲205	▲242	▲406	164	-	▲250	-	▲50
その他の損益	14	▲29	▲15	6	▲21	-			
持分法による投資損益	611	270	881	718	163	-	1,100	-	1,000
税引前利益	1,428	500	1,928	1,446	482	33%	2,500	77%	2,700
法人所得税	▲294	▲2	▲295	▲348	52	-	▲350	-	▲550
四半期利益	1,135	498	1,633	1,098	534	49%	2,150	76%	2,150
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,118	484	1,602	1,054	548	52%	2,100	76%	2,100
非支配持分に帰属する四半期利益	17	14	31	45	▲14	-	50	-	50
収 益	33,581	18,287	51,868	36,105	15,764	44%			
実態営業利益 (*2)	811	454	1,265	1,049	215	21%	1,600	79%	1,750
基礎収益 (*3)	1,449	734	2,183	1,811	372	21%	2,800	78%	2,800

(*1)「売上高」は、取引形態の如何にかかわらず当社及び連結子会社の関与する全ての取引を含んでおります。

「売上高」及び「営業利益」は、投資家の便宜を考慮し、日本の会計慣行に従った自主的な表示であり、IFRSで求められている表示ではありません。

(*2) 実態営業利益=売上総利益+販売費及び一般管理費

(*3) 基礎収益=実態営業利益+支払利息(受取利息控除後)+受取配当金+持分法による投資損益

資産、負債及び資本の状況	2013年12月末	2013年3月末 (*5)	前年度末比	2014年3月末 見直し
連結総資産	71,933	61,158	10,776	-
(流動資産)	(32,879)	(31,744)	(1,135)	-
(非流動資産)	(39,055)	(29,414)	(9,641)	-
連結資本	15,158	12,030	3,127	16,000程度
連結有利子負債	32,187	27,536	4,651	-
連結ネット有利子負債	25,844	18,559	7,284	28,000程度
ネットD/Eレシオ (*4)	1.70倍	1.54倍	+0.16ポイント	1.7倍程度

(*4) ネットD/Eレシオ=連結ネット有利子負債/連結資本

(*5) 2013年3月末の計数は、新会計基準適用後の計数に修正再表示しております。

キャッシュ・フローの状況	2013年度	2012年度	主要指標の推移			2013年度
	第3四半期	第3四半期	2013年度	2012年度	変動幅	第4四半期
	累計期間	累計期間	第3四半期	第3四半期	(変動率)	(見直し)
			累計期間	累計期間		
営業活動によるCF	923	1,211	99.39	80.00	19.39円(24%)の円安	99
投資活動によるCF	▲6,491	▲1,534	105.39	86.58	18.81円(22%)の円安	99
フリーキャッシュ・フロー	▲5,568	▲323	0.228	0.329	0.101%(31%)の低下	0.2
財務活動によるCF	2,743	1,687	0.259	0.402	0.143%(36%)の低下	0.3
為替変動の影響	246	186	99	91	8ドル(9%)の上昇	95
現金及び現金同等物の増減	▲2,578	1,551	7,124	7,827	703ドル(9%)の下落	7,300
			LME銅(ドル/トン)	4月-12月平均		

連結対象会社 黒字/赤字の状況	2013年度第3四半期累計期間			2012年度第3四半期累計期間			前年同期比		
	国内	海外		国内	海外		国内	海外	
黒字会社数	347	120	227	334	120	214	13	0	13
黒字会社額	2,086	477	1,608	1,676	442	1,234	409	35	374
赤字会社数	112	41	71	109	23	86	3	18	▲15
赤字会社額	▲354	▲43	▲310	▲502	▲69	▲434	149	25	124
会社数合計	459	161	298	443	143	300	16	18	▲2
ネット損益	1,732	434	1,298	1,174	374	800	558	60	498
黒字会社数比率	75.6%	74.5%	76.2%	75.4%	83.9%	71.3%	0.2%	▲9.4%	4.9%

2013年度第3四半期連結累計期間 連結決算の概要

【連結決算の概要】

○ 当第3四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比548億円(52%)増益の1,602億円と、第3四半期連結累計期間としては史上最高益となった。なお、2013年度の業績予想2,100億円に対し、進捗率は76%となった。

○ 連結資本は、利益の積み上げ及び円安による在外営業活動体の換算差額の増加を主因として、前年度末比3,127億円増加の1兆5,158億円となった。

○ 連結ネット有利子負債は、新規投資の実行により、前年度末比7,284億円増加の2兆5,844億円となり、この結果、ネットD/Eレシオは前年度末比0.16ポイント上昇の1.70倍となった。

【損益の状況】

①売上高・・・9兆7,833億円

穀物の取扱数量増加を主因として、前年同期比2兆228億円の増収となった。円安の影響は8,700億円程度の増収。主な増収セグメントは食料(+1兆2,379億円)、海外支店・現地法人(+5,614億円)。

②売上総利益・・・4,897億円

前年同期比826億円の増益となった。円安の影響は410億円程度の増益。下表参照。

③販売費及び一般管理費・・・▲3,633億円

人件費を中心に前年同期比611億円の増加となった。円安の影響は260億円程度の増加。

④貸倒引当金繰入額・・・▲15億円

前年同期比9億円の悪化となった。

⑤支払利息(受取利息控除後)・・・▲156億円

前年同期比22億円の悪化となった。

⑥受取配当金・・・194億円

エネルギー案件を中心に前年同期比16億円の増加となった。

⑦有価証券損益・・・16億円

有価証券売却損益の減益を主因として、前年同期比24億円の減益となった。

⑧固定資産損益・・・▲242億円

エネルギー案件での減損損失を主因に▲242億円となったものの、前年同期比164億円の改善となった。

・固定資産評価損 ▲265億円(前年同期比 +155億円)
・固定資産売却損益 24億円(前年同期比 +8億円)

⑨その他の損益・・・▲15億円

前年同期比21億円の悪化となった。

⑩持分法による投資損益・・・881億円

持分法による投資損益は前年同期比163億円の増益となった。主な内訳は以下の通り。

チリ銅事業	140億円(前年同期比 ▲49億円)
伊藤忠丸紅鉄鋼	95億円(前年同期比 +13億円)
豪州鉄鉱石事業	73億円(前年同期比 +74億円)
JELLINBAH GROUP (豪州石炭事業)	33億円(前年同期比 ▲5億円)
Westlake (米国自動車販売金融事業)	32億円(前年同期比 +11億円)
Maynilad (マニラ首都圏上下水道事業)	20億円(前年同期比 +20億円)

(単位:億円)

オペレーティング・セグメントの状況	売上総利益			親会社の所有者に帰属する四半期利益			主な増減要因	親会社の所有者に帰属する当期利益		
	当四半期	前年同期	増減	当四半期	前年同期	増減		当期	11月8日	増減
	累計期間			累計期間				修正予想	公表予想	
食料	1,061	752	309	150	50	100	Gavilonの新規連結及び穀物の取扱数量増加による影響等により、売上総利益、四半期利益ともに増益。	180	150	30
化学品	220	206	14	58	47	11	肥料原料、中国向け液晶パネル製造装置及び太陽光モジュールの取扱数量増加等により、売上総利益、四半期利益ともに増益。	80	80	0
エネルギー	360	393	▲33	178	47	131	石油・ガス開発分野における生産量減少等により、売上総利益は減益となったものの、受取配当金や持分法による投資損益の増益及び固定資産に係る減損損失の減少により、四半期利益は増益。	330	390	▲60
金属	126	130	▲5	304	208	96	商品価格下落により、売上総利益は減益となったものの、負のれんの利益計上及び前年同期には一過性の損失があった反動等により、四半期利益は増益。	330	270	60
輸送機	492	385	106	159	144	14	自動車関連事業を中心とした円安による収益改善等により、売上総利益が増益となったことに加え、持分法による投資損益も増益となったことから、四半期利益は増益。	220	180	40
電力・インフラ	204	180	24	267	196	71	英国電力コンクリート事業の増益等により、売上総利益が増益となったことに加え、持分法による投資損益も、海外電力事業を主因として増益となったことから、四半期利益は増益。	300	300	0
プラント・産業機械	265	170	95	62	62	0	繊維プラント関連案件における増益等により、売上総利益は増益となったものの、前年同期にはデリバティブ取引による利益等があったことから、四半期利益は横ばい。	100	100	0
ライフスタイル・紙パルプ	433	442	▲9	95	65	30	紙・板紙製品事業やムシパルプ事業の採算が悪化したことにより、売上総利益は減益となったものの、持分法による投資損益の増益により、四半期利益は増益。	130	130	0
情報・金融・不動産	590	510	80	54	79	▲24	MXモバイリングの新規連結により、売上総利益は増益となったものの、マンション竣工の減少による減益及び持分法による投資損益の減益により、四半期利益は減益。	150	150	0
海外支店・現地法人	1,218	941	277	213	129	84	米国会社での増益及び円安の影響等により、売上総利益、四半期利益ともに増益。	220	220	0
全社及び消去等	▲70	▲37	▲33	62	27	35	金利収支及び法人所得税等の改善により、四半期利益は増益。	60	130	▲70
連結合計	4,897	4,071	826	1,602	1,054	548		2,100	2,100	0

2013年度業績予想の概要

◎ 2013年度の親会社の所有者に帰属する当期利益は期初予想通り2,100億円の見込み。

◎ 2013年度の年間配当金は、親会社の所有者に帰属する当期利益が2,100億円の見込みであることから、連結配当性向を20%以上とする配当方針に基づき、25円(中間配当金12.5円実施済み、期末配当金12.5円)とする予定。